

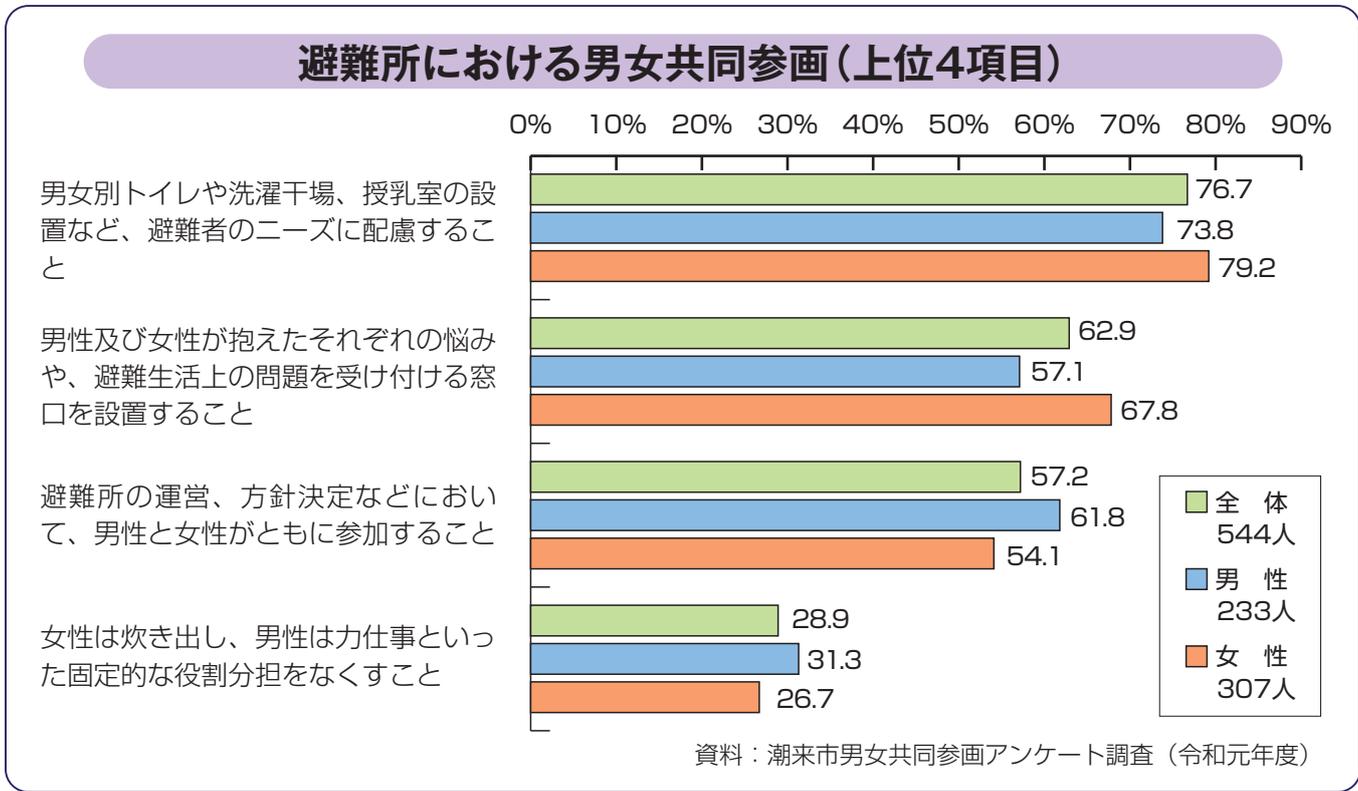
知っここ！男女共同参画⑨

木の芽もふくらみ、花のつぼみに春を感じる嬉しい季節となりました。本格的な春が待ち遠しいですね。今月号は、男女共同参画の視点に立った防災対策の市民意識調査のアンケート結果についてお知らせします。

防災対策について

問24 避難所における男女共同参画について、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ①. 避難所の運営、方針決定などにおいて、男性と女性がともに参加すること
- ②. 男女別トイレや洗濯干場、授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること
- ③. 女性は炊き出し、男性は力仕事といった固定的な役割分担をなくすこと
- ④. 男性及び女性が抱えたそれぞれの悩みや、避難生活上の問題を受け付ける窓口を設置すること
- ⑤. その他（ ）



結果▶ 「男女別トイレや洗濯干場、授乳室の設置など、避難者のニーズに配慮すること」が7割台と最も多く、次いで「男性及び女性が抱えたそれぞれの悩みや、避難生活上の問題を受け付ける窓口を設置すること」「避難所の運営、方針決定などにおいて、男性と女性がともに参加すること」の順でした。

このような結果から、男性と女性のニーズの違いをはじめ、乳幼児、妊産婦、若者、高齢者、障がい者、外国人など、それぞれに必要な支援を考えた行動が大事であり、更に様々な立場の人たちが共に責任を担いながら支え合うことも大事であることが伺えます。

今後は、防災に必要な施策に男女共同参画の視点を取り入れ、地域の防災力の向上が図られるよう、防災分野における意思決定過程をはじめ、防災活動の現場や避難所運営への女性参画を促進する取組みなどに努めてまいります。